

平成25年 普及活動の結果について

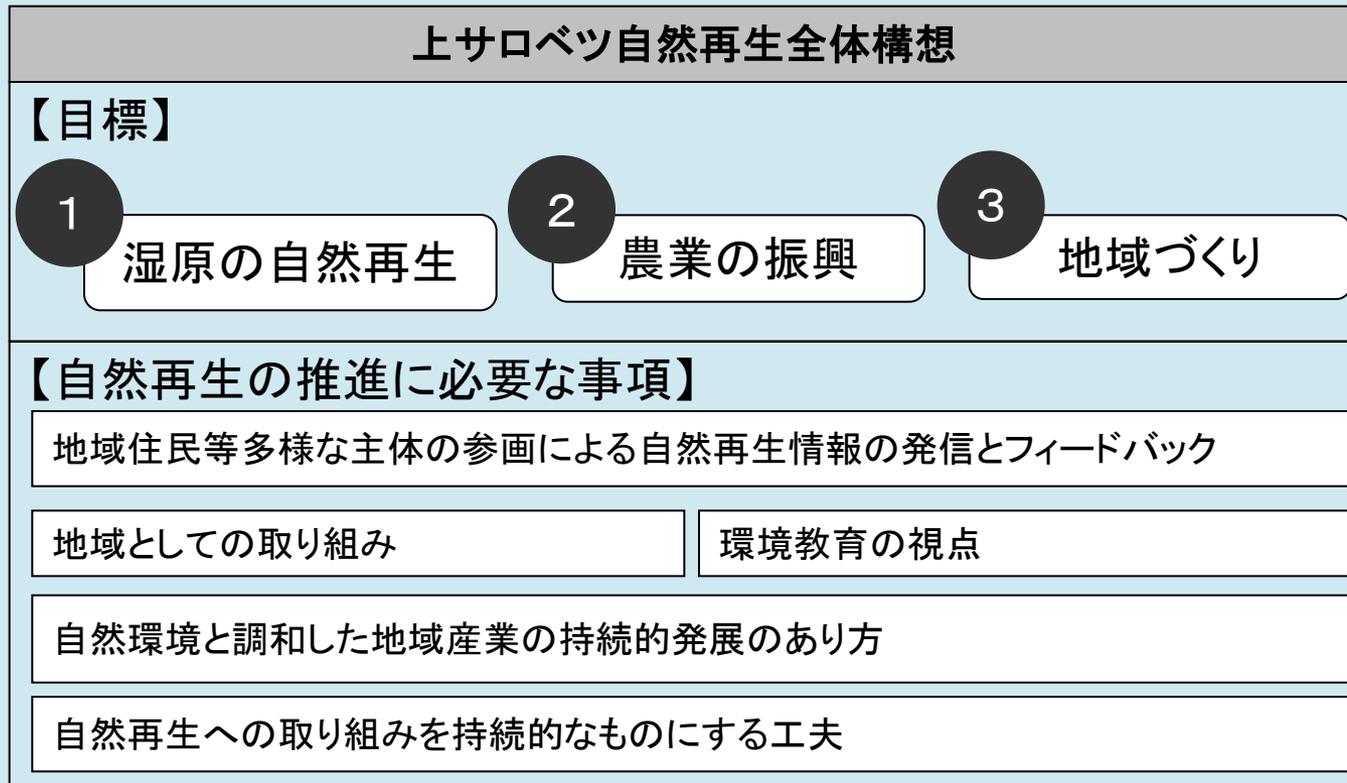


平成26年3月6日

上サロベツ自然再生協議会 第14回再生普及部会

(1) 自然再生普及活動の 進め方について

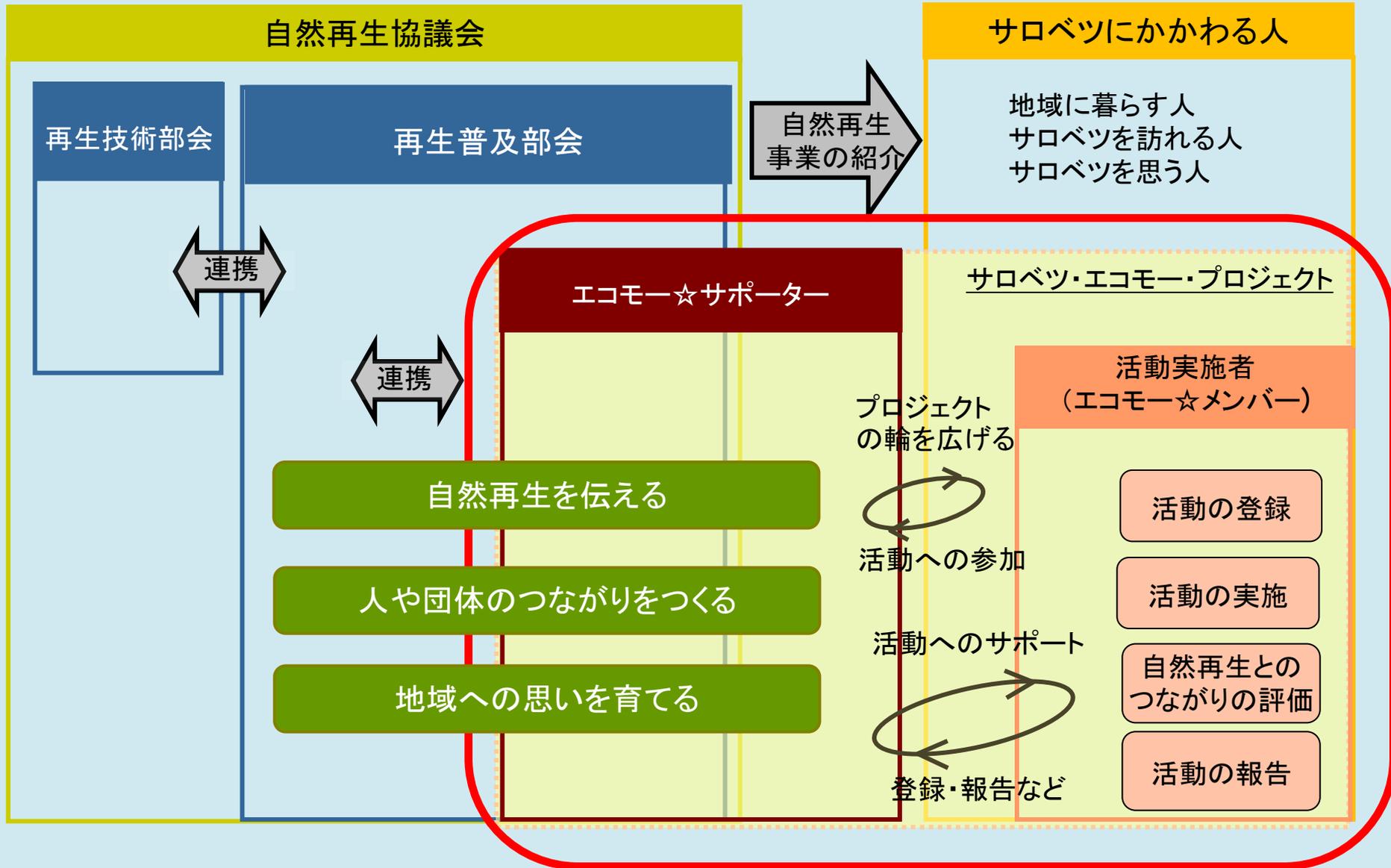
自然再生普及行動計画の位置づけと目的



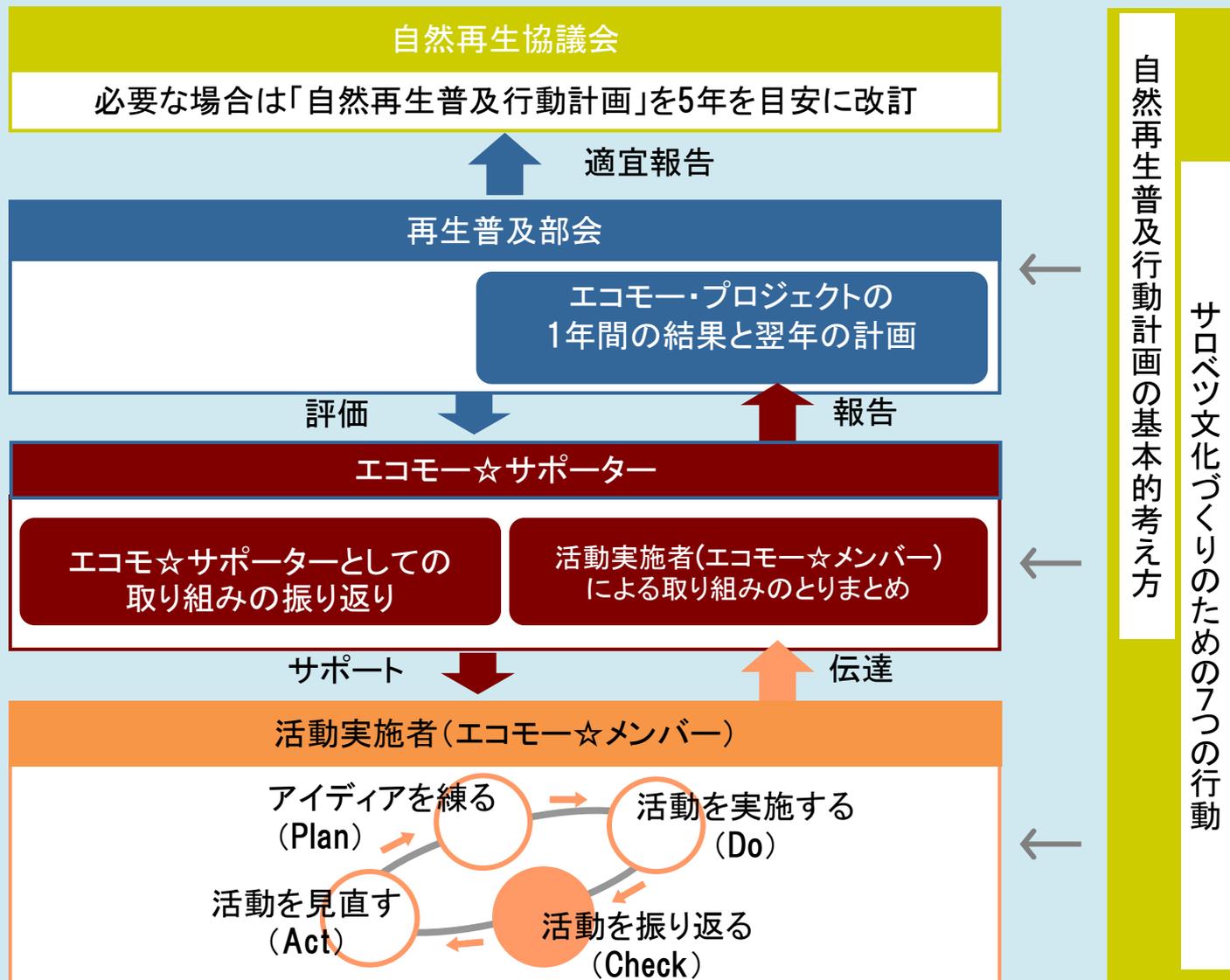
サロベツならではの**特徴ある地域づくりを進めるための『3つの役割』**

- ◆自然再生を伝える
- ◆人や団体のつながりをつくる
- ◆地域への思いを育てる

自然再生普及活動の進め方



自然再生普及活動の評価・見直しの仕組み



(2) 平成25年の自然再生普及活動の
ふりかえり

サロベツ・エコモー・プロジェクト2013活動の様子



①上かべツの自然と農業を学ぶパネル



②上サロベツ農業情報マップ



③サロベツHANAマラソン



④サロベツ今昔物語



⑤サロベツを守ろう

NEW



⑥なまら!!サロベツ∞クラブ



⑦サロベツ自然語講座



⑧稚咲内砂丘林再生プロジェクト



⑨サロベツ自然観察会



⑩サロベツ木道ナイトハイク



⑪ゴミのポイ捨て防止啓発活動



⑫豊富中学校の総合学習への協力

NEW



⑬サロベツの歌をうたってみよう



⑭サロベツ・エコモーDay



⑮サロベツ・エコモー・ツアー



⑯サロベツ学会2013年度総会



⑰サロベツの春を探そう観察会 他

NEW



⑱サロベツ湿原も牧草地も美しく！



⑲外来種からサロベツをまもろう！
（オオハンゴンソウの除去）



⑳顔出しパネル



②①サロベツサブレンジャー



②②ポニーの幌馬車・馬ソリ



②③押忍！我ら豊富町『カレー部』！



②④農村生活文化伝承展

NEW



②⑤ 稚咲内海岸清掃全校ボランティア

NEW



②⑥ 豊富町地域PR活動

NEW



②⑦ セイコーマート！北海道豊富
牛乳の故郷を訪ねてみよう

NEW



②⑧ サロベツ年賀状シリーズ
(消しゴムはんこ)

NEW



②⑨サロベツ木道マップ



③⑩かせいじんのサロベツ折り紙工房

活動数（参加団体）

平成20年	9活動（9団体）
平成21年	19活動（11団体）
平成22年	16活動（18団体）
平成23年	22活動（18団体）
平成24年	17活動（15団体）
平成25年	30活動（28団体）

活動分野（7つの行動より）※複数回答

	2012	2013
サロベツを見つけよう	10	18
サロベツの話をしよう	4	11
サロベツを楽しもう	11	19
サロベツのことをまとめよう	0	4
サロベツのことを伝えよう	11	18
サロベツを守ろう	5	12
サロベツでつなげよう	10	11

**多くの方が色々な分野で
サロベツに関わるようになっていく**

エコモー☆サポーターの活動のふりかえり



エコモー☆サポーター会議の様子



サロベツ・エコモー・プロジェクト
活動報告会の開催



ホッキ祭りでの自然再生PR活動



サロベツ・エコモーDayでの
自然再生PR活動

年間活動方針からみた振り返り①

エコモー・プロジェクトの輪を広げる

取り組み① 地域活動リストの活用

地域活動リスト(平成 25 年 10 月 2 日更新) 「湿原の保全」「農業の振興」「地域づくり」に関わりのある地域活動						サロベツ・エコモー・プロジェクト 登録状況					
開催日	開催場所 開催時間	行事名	主催者	連絡先	概要	2008	2009	2010	2011	2012	2013
						4月21日(日)	稚状内海岸 9:30~	稚状内海岸砂丘清掃 サロベツ原生花園清掃	利尻礼文サロベツ 国立公園パークボ ランティアの会	稚内自然保護官事務所 TEL:0162-33-1100	豊富町民や豊富町の各関係機関、団体が丸となって地域の景観を維持するため稚状内の砂丘上にあるゴミの大清掃を行う行事。
4月29日(月)	サロベツ湿原セ ンター	サロベツの春を探そ う!観察会	オハバワ倶楽部	サロベツ湿原センター TEL:0162-82-3232	早春のサロベツ原野で動植物を探し、春の息吹を参加者全員で感じる観察会。		○	○	○		
5月~3月 1~2回程度	サロベツ湿原 センターほか	なまら!! サロベツ倶楽部	NPO法人サロベツ・エ コ・ネットワーク	サロベツ湿原センター TEL:0162-82-3232	豊富町の小中学生を対象に、カヤックでのベンケ沼の探検や野鳥観察などを通してサロベツの自然を体で感じ、サロベツ地域の良さを探す行事。						○
5月1日(金)	自然公園ほか 9:00~	春のクリーン作戦	豊富町 町民課	豊富町役場 町民課 TEL:0162-82-1001	ボランティアで参加している 市街地住民・地域住民・老人クラブや豊富町の各関係機関や団体が地域の景観維持のため主要道路や観光路線の大清掃を行う行事。(広報とよみより引用)						
5月4日(土)	湿原 センター前 11:00~	ゴミのポイ捨て 禁止啓発活動	豊徳地区自治会・ 婦人部・老人会ほか	豊富町役場 農政課 TEL:0162-82-1001	サロベツ湿原センター来場者に地域の人達がゴミのポイ捨て禁止のチラシと豊富牛乳を配布する行事。						○
5月19日(日) 6月16日(日) 7月21日(日) 8月18日(日) 9月22日(日) 10月20日(日) 1月19日(日) 2月16日(日)	サロベツ 湿原センターほか	サロベツ自然語講座	NPO法人サロベツ・エ コ・ネットワーク	サロベツ湿原センター TEL:0162-82-3232	多くの方にサロベツ原野の自然や歴史を机上の講義とフィールドでの体験を通して学ぶことによって、より身近なものとして感じてもらい、それを他の人に伝えることのできる人材になってもらえるよう企画した行事		○		○	○	
5月20日(月)	豊徳地区	桜の苗の植樹	豊徳地区協議会	豊富町役場 農政課 TEL:0162-82-1001	昨年に植樹した桜の冬囲いを外す作業等を行ないます。						



リストを活用して
エコモー☆サポーターが
地域活動に参加するこ
とができた



ゴミのポイ捨て防止啓発活動



サロベツHANAマラソン

年間活動方針からみた振り返り①

エコモー・プロジェクトの輪を広げる

取り組み② 各種イベントで活動の紹介



ホッキ祭りでの自然再生PR活動



サロベツ・エコモーDayでの
自然再生PR活動



2つのイベントで、のべ535人の来場があり、
自然再生をPRすることができた

年間活動方針からみた振り返り①

エコモー・プロジェクトの輪を広げる

取り組み③ メンバーバッジの製作

取り組み④ 事前・事後の登録用紙を1つに改善



➡ エコモー☆メンバーの輪を
バッジを配ることで広げた

➡ 書類を簡略化し、
登録しやすくすることができた

年間活動方針からみた振り返り①

エコモー・プロジェクトの輪を広げる

課題

- メンバー缶バッジの配布や活用が十分にできなかった
- ホームページの活用などのメリットを生かせなかった
- イベントの来場者からは、興味はあるが活動に参加することは難しいとの意見があった

今後に向けて

- メンバー缶バッジ積極的に配布する
- ホームページや町内の施設の告知掲示板を積極的に活用する
- 活動に参加することだけでなく、農業の話をする、自然の話をするなど、多様な関わり方があることをPRする

年間活動方針からみた振り返り②

活動ごとの効果をも高める

取り組み① エコモー☆サポーター 活動実施要綱の策定

<p>上サロベツ自然再生協議会 エコモー☆サポーター活動実施要綱</p> <p>(名称) 第1条 このワーキンググループの名称は、上サロベツ自然再生協議会 エコモー☆サポーターとする。</p> <p>(目的) 第2条 エコモー☆サポーターは、上サロベツ自然再生普及行動計画に基づき、サロベツ・エコモー☆プロジェクトを推進することを目的とする。</p> <p>(活動) 第3条 エコモー☆サポーターは、上サロベツ自然再生普及行動計画に基づき、サロベツ・エコモー☆プロジェクトとして次に掲げる活動を行う。 (1) 自然再生の普及 (2) 自然再生に関わる地域活動の推進 (3) 自然再生に関わる地域活動を行う団体、個人等の交流の促進 (4) その他必要な事項</p> <p>(構成) 第4条 エコモー☆サポーターは、再生普及部会構成員のうち、サロベツ・エコモー☆プロジェクトを推進しようとする有志の者で構成する。 1 構成員の任期は2年とし、上サロベツ自然再生協議会の任期期間と同じとする。 2 構成員の募集は、上サロベツ自然再生協議会と併せて行うものとし、任期中の加入も妨げない。 3 再生普及部会構成員以外の者であっても、サロベツ・エコモー☆プロジェクトの推進に協力する意思のある者については、事務局構成団体の協議により必要と認められた場合に加入することができる。ただし、加入に当たっては、次期募集において再生普及部会構成員となることを基本とする。</p> <p>(代表及び副代表) 第5条 エコモー☆サポーターに代表及び副代表を置き、会員の互選によりこれを定める。 1 代表は、エコモー☆サポーターを代表し、活動を総理する。 2 副代表は、代表を補佐し、必要に応じて代表の職務を代理する。</p>

取り組み② イベント時のスタッフ間の 情報共有・役割分担の明確化



- ・活動の目的や役割分担が明確になり、目的意識を持って取り組めるようになった。
- ・スタッフがそれぞれの役割で力を発揮できるようになった。

年間活動方針からみた振り返り②

活動ごとの効果をも高める

取り組み③ パネルの内容を題材にしたクイズラリーを実施
クイズラリーとアンケートを一体化して実施

(表面)



(裏面)



クイズラリーの様子

- クイズラリーによって、楽しみながら自然再生を知ってもらえるようになった。
- アンケートと一体化することで回収率を上げることができた。



年間活動方針からみた振り返り②

活動ごとの効果をも高める

課題

- アンケート結果を次の活動に生かし切れていない
- 活動ごとふりかえりが単発的になりがち
- 自然再生普及の地域メリットの創出に至っていない

今後に向けて

- アンケート結果を分析し、次の活動に生かす
- 自然再生の取り組みによる地域経済の活性化など、地域のメリットになることを検討し、持続的な自然再生の仕組みづくりを目指す

年間活動方針からみた振り返り③

エコモー☆メンバーの交流がより深まるよう工夫する

取り組み① エコモー☆メンバー交流会の実施



➡ 従来の「活動報告会」を「メンバー交流会」と改め、昼食にカレーを提供するなどし、懇親を深めやすい雰囲気をつくることができた

年間活動方針からみた振り返り③

エコモー☆メンバーの交流がより深まるよう工夫する

取り組み② 出前エコモーの実施



ホッキ祭りでの
ペンケ沼カヌー清掃の紹介



エコモーDayでの
ポニーの幌馬車の紹介

➡ ホッキ祭、エコモーDayなどのイベントで
エコモー☆メンバーの活動を紹介することができた

課題

- メンバーの交流等による連帯感が伝えきれていなかった
- メンバー同士が交流する機会は増えたが、イベント以外の情報交換・交流の機会が作れていなかった

今後に向けて

- エコモー☆メンバー交流会は継続して実施しながら、イベント以外の交流の場を提供する